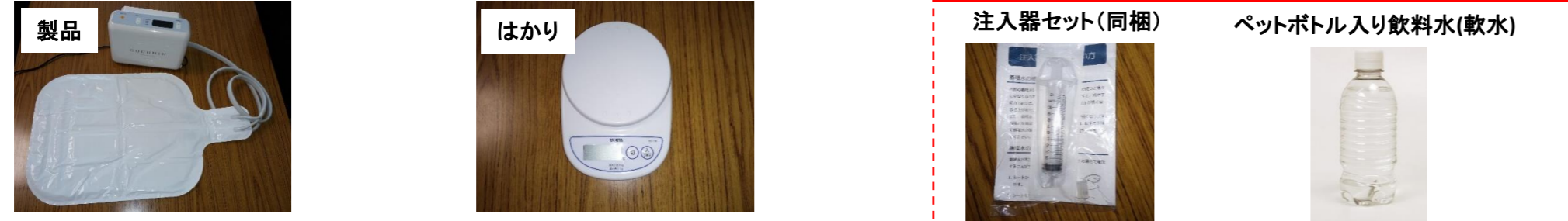


シートの温度が変わらない(温まらない/冷えない場合)

**<確認1> 使用されている場所の室温は適温ですか？**  
 室内の温度状況によって、温まらない/冷えないことがあります。室温をご確認願います。  
 ✓ 温めの場合、室温が5~35度で41度まで上がります。5度より低い場合、ご希望の温度に到達しない場合があります。  
 ✓ 冷却の場合、室温から約7度下がった温度を保つことができます。

**<確認2> シートの水が不足していませんか？**  
 シートの水が不足している可能性があります。シートの重さをはかり、重量が少ない場合は、水を補充してください。

【ご準備頂くもの】

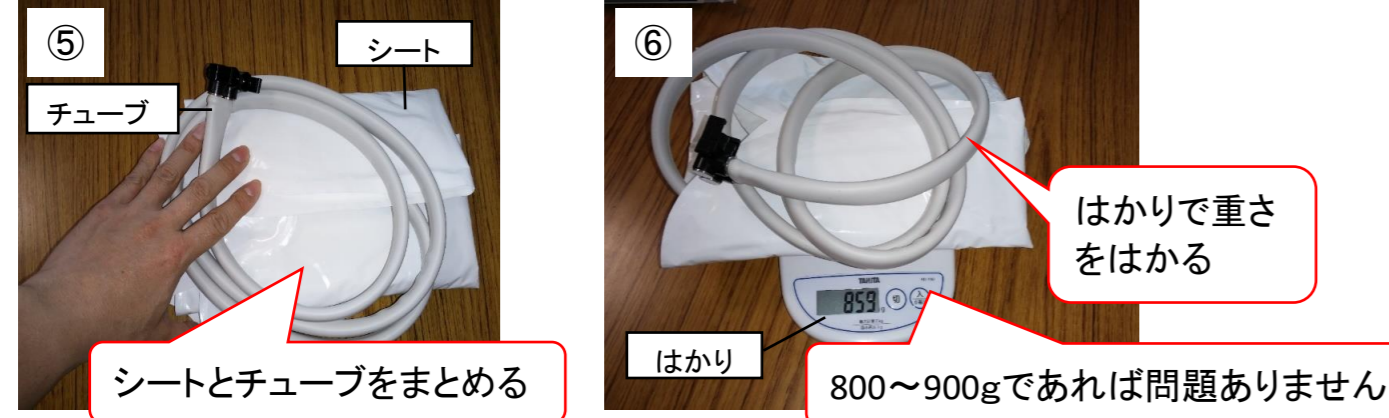


水が不足している場合、必要になります

【手順1】本体ユニットからシートを外す



【手順2】シートの重さをはかる



【800gより少なかった場合】  
手順3に進んでください

【800g~900gの場合】  
手順4に進んでください

【900gより多かった場合】  
作業を中止し、購入先までご連絡ください

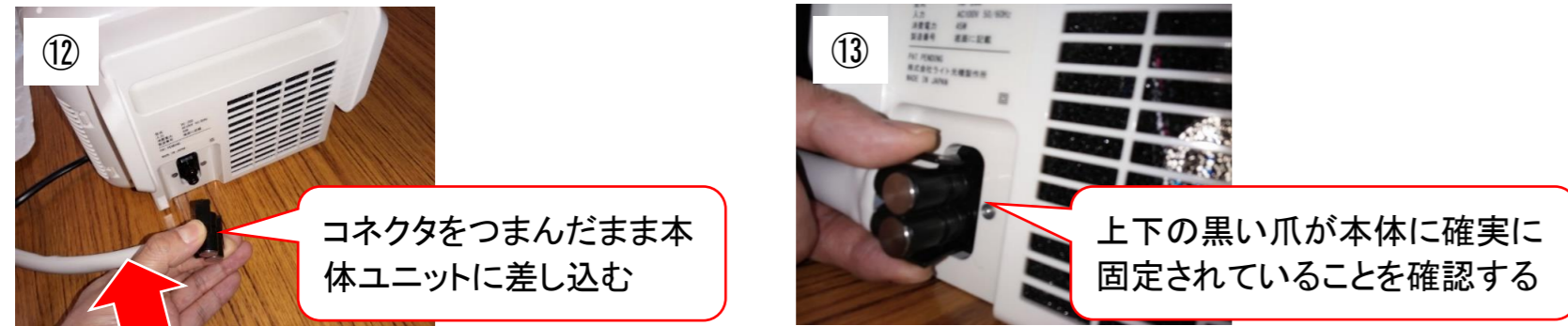
<ポイント！>  
 シートの重量が800gより少なかった場合、  
 手順3に沿って850gになるまで水を入れてください

【手順3】シートに水を補充する(手順2で重さが800gより少なかった場合)



水が850gより足りない分だけ、⑩~⑪の作業を繰り返してください

【手順4】シートを本体ユニットに繋げる



水の補充作業は完了です

裏面の<確認3>もご覧ください

**<確認3> シートに空気が混入していませんか？**  
 シートに空気が混入している可能性があります。シート内から空気を抜いてください。

**【ご準備頂くもの】**



同梱されている注入器セットから注入器とアダプタを取り出す

作業を開始される前に、注入器にアダプタを付けて準備してください



注入器にアダプタを取り付ける  
 ※アダプタに方向はありません

**【手順1】製品を2〜3分運転し、本体から「ポコポコ」や「ガラガラ」といった音が連続して発生しないか確認する**



① 電源を入れる

本体ユニット



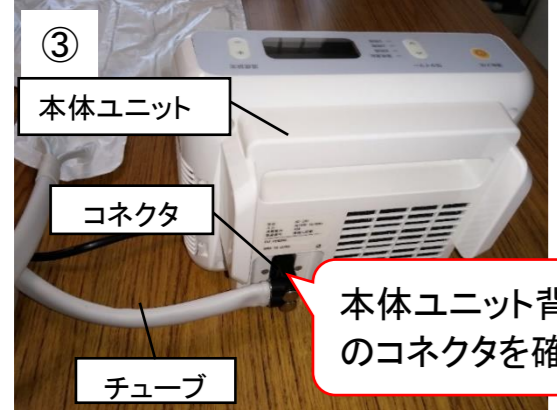
②

本体ユニット背面からの音を確認する

【本体から音がした場合】  
 手順2に進んでください

【本体から音がなかった場合】  
 シートに空気の混入はありません。  
 シートの温度が変わらない(温まらない/冷えない)場合は、購入先までご連絡ください

**【手順2】本体ユニットからシートを外す**



③

本体ユニット

コネクタ

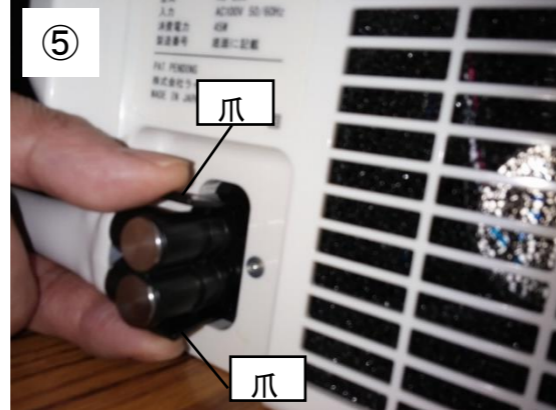
チューブ

本体ユニット背面のコネクタを確認



④

上下の黒い爪をつまむ



⑤

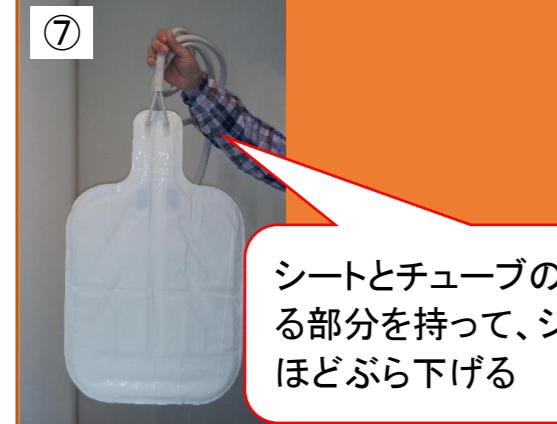
爪



⑥

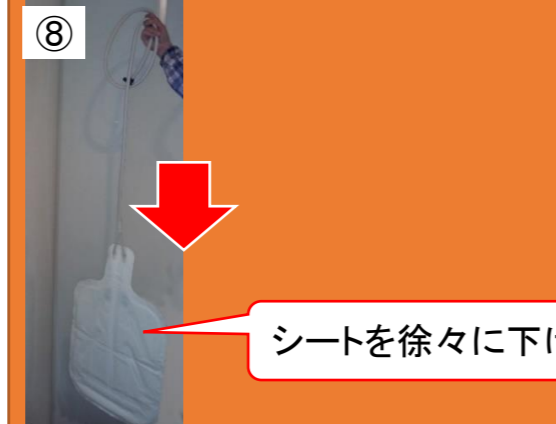
つまんだまま手前に引っ張る

**【手順3】シートを持ち、徐々に下げていき、中の空気をチューブの上方に移動させる**



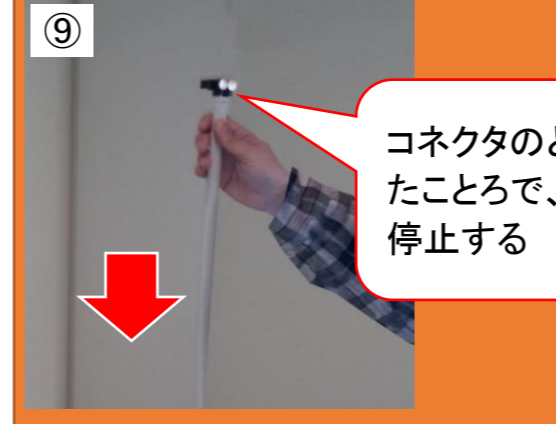
⑦

シートとチューブの繋がっている部分を持って、シートを30秒ほどぶら下げる



⑧

シートを徐々に下げていく



⑨

コネクタのところまで来たところで、下げるのを停止する



⑩

コネクタをシートより高い位置で維持したまま、シートを平らな個所に置く

**【手順4】注入器セットを使用し、チューブから空気を抜く**



⑪

コネクタ

アダプタをコネクタの先端に強く押し込む  
 ※コネクタは左右どちらでも問題ありません



⑫

アダプタを押し当てたまま、注入器の内筒を引く



⑬

注入器内に水が出てきたら一旦作業を停止する。



⑭

コネクタ

もう一方(左右逆)のコネクタにアダプタを押し当て、⑫と同じ作業を繰り返す。水が出てきたら作業を停止する。

**【手順5】シートを本体ユニットに繋げる**



⑭

コネクタをつまんだまま本体ユニットに差し込む



⑮

上下の黒い爪が本体に確実に固定されていることを確認する

空気抜き作業は完了です

上記3点を確認してもシートの温度が変わらない(温まらない/冷えない)場合は、お手数ですが、取扱説明書内のお問い合わせ先までご連絡ください。